



平成 28 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福社会

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

平成 28 年度 事業目標

「現存機能を活かし、在宅生活を継続できる力を維持、向上を図る」

心身機能を把握し、自宅での生活を継続できるように現存機能を活かした支援を目指す。また、利用したいとの思いが募るように可能な希望への対応にも努める。

- (1) 定期的な利用者、新規利用者の心身機能を介護支援専門員や家族との連携で把握し、自宅での生活が継続できるように現存機能を活かした支援に努める。
- (2) 個室を活かし、自由に時間の活用をすすめるとともに集団で行うレクリエーション活動と塗り絵や計算ドリルなど個別の活動を提供していき、職員から積極的に関わっていくことで、意欲の維持・向上に努める。また、寝たきり状態からフロアでの関わりが持ちにくい利用者については、居室でCDプレーヤーによる音楽やラジオ番組をかけつつ、コミュニケーションやスキンシップをとるなど、人の感覚作用を意識した関わりに努める。

平成 28 年度 事業報告

- (1) 利用者の生活スタイルを大きく変化させることがないように、契約時に専用のシートを活用して情報収集を行い、職員に周知を図った。また、家族や介護支援専門員と常に連絡を取り合いながら嗜好品の持込みなども積極的に取り入れたことで新規利用者に対しても自宅での生活の延長となるように支援の展開を図った。移動する距離によって、車いすを利用している方に対しても、ホール内の移動については、歩行器を利用するなどの歩行支援を行ったことで下肢筋力の増強を図った。あわせて、利用者の状態や家庭生活を加味し、洗い物や洗濯物たたみなど手段的日常生活動作訓練を実施したことで現存機能の維持及び向上も図った。
- (2) 塗り絵や計算ドリルなどの取り組みだけでなく、ユニットリビングに図書の設定、おやつ作り、喫茶（選択メニュー）など活動の幅を広げ、利用者の趣味・趣向に合わせた個別活動の提供に努めたことで生活意欲の維持・向上を図った。また、朝のラジオ体操や午後のリハビリ体操を習慣化したことで、居室で過ごす時間が長い利用者に対しても、職員が積極的に関わることができ、寝たきりの方に対しては、ハンドマッサージや足浴などを取り入れたことで、スキンシップによる人の感覚作用を意識した支援を図った。居室にテレビを設置することでプライベート空間の充実も図ることが出来た。

平成 28 年度 事業運営総括

1. 利用実績について

平成 28 年度の年間稼働率は 86.7%であり、平成 27 年度と比較すると数%上がったものの、4 月から 10 月までの平均稼働率は 82.3%と低い状態であった。要因として新規契約数は年度間 74 件あったものの、継続的に利用される割合が少なく、継続的に利用されていた方では長期入院や他施設入所により突然のキャンセルが多かったことで稼働率が伸び悩んだ。また、定員が 10 名であるため毎月の実人数が 30 人程度と少ないことでキャンセルが出た際の対応が遅れがちになっていた。

ただ、11 月頃よりサービスの内容を事業所のメンバー全員で根本から見直し、利用者がより満足を感じられるようイベントや行事を定例化するとともに機能訓練等の時間や内容を充実させ、それを家族や介護支援専門員により「見える化」したことで 11 月から 3 月までの稼働率を 92.7%と大きく改善することができた。

2. 利用者状況について

同法人の他短期入所生活介護事業所でも同様の現象は起こっているが、介護度 4、5 の方は施設入所する例が多く、介護 1、2 の利用者の割合が多い。また、個室という設備環境もあり、居室内で自分のプライバシーをしっかりと確保して気ままに過ごしたいという思いを持った利用者が多い傾向にある。

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	お花見ランチバイキング	漢字トレーニング 塗り絵・裁縫	みんなで唄おう 口腔体操
5月	すぐりはら交流会	漢字トレーニング ちぎり絵、塗り絵	口腔体操 点取りゲーム 計算問題
6月	つくしの会交流会	漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	口腔体操 点取りゲーム
7月	七夕笹飾り	ちぎり絵・塗り絵 ペン習字	口腔体操 数字合わせゲーム
8月	夏祭り	漢字トレーニング・パズル ちぎり絵・裁縫	口腔体操(歌等) 数字合わせゲーム 指折り体操
9月	お月見会	漢字トレーニング 飾り作り	口腔体操 みんなで唄おう 計算問題
10月	秋祭り	漢字トレーニング ペン習字・パズル・裁縫	口腔体操 言葉遊び、トランプ 計算問題
11月	外出・ドライブ	漢字トレーニング かざり作り	口腔体操 下肢筋力トレーニング 数字合わせゲーム
12月	クリスマス会	漢字トレーニング クリスマス飾り作り	口腔体操 カラオケ ボール体操
1月	鏡開き	漢字トレーニング フェルト小物づくり	口腔体操 トランプ、かるた 館内散策
2月	節分豆まき	漢字トレーニング・パズル ちぎり絵・塗り絵	口腔体操 点取りゲーム 数字合わせゲーム
3月	ひなまつり会	漢字トレーニング 塗り絵	口腔体操 計算問題 ボールゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	喫茶レクリエーション	おやつ作り 塗り絵 計算ドリル	ラジオ体操 リハビリ体操(上下肢体操) カラオケ

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.20》

平成29年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	1	3%
要支援2	1	3%
要介護1	8	23%
要介護2	15	41%
要介護3	5	15%
要介護4	7	19%
要介護5	0	0%
合計	37	100%

月間利用実績(人数)

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
要支援2	0	0	2	3	0	1	0	0	1	1	1	1	10
要介護1	6	5	5	7	8	9	6	6	7	5	4	8	76
要介護2	10	8	6	8	7	8	9	6	9	13	14	15	113
要介護3	6	7	7	12	10	7	9	12	10	10	7	5	102
要介護4	5	4	5	5	4	7	7	3	3	3	5	7	58
要介護5	2	2	2	2	2	1	0	2	1	0	0	0	14
合計	30	26	27	37	31	33	31	29	31	32	31	37	375

月間利用実績(延べ人数) 《稼働率 86.6%》

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9
要支援2	0	0	6	17	0	6	0	0	3	2	6	6	46
要介護1	23	40	30	46	54	56	38	38	50	27	31	34	467
要介護2	108	94	57	54	53	48	54	51	73	95	103	95	885
要介護3	40	41	43	68	52	36	90	101	96	82	50	44	743
要介護4	59	68	79	53	73	92	84	65	71	70	85	85	884
要介護5	6	12	9	16	40	14	0	24	8	0	0	0	129
合計	241	255	224	254	272	252	266	279	301	276	275	268	3,163

曜日別延べ利用実績

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	457	404	456	463	489	450	444	3,163
割合	14%	13%	15%	15%	15%	14%	14%	100%

1週当り平均利用人員

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	8.8	7.8	8.9	8.9	9.2	8.5	8.6	60.70	8.67
割合	14%	13%	15%	15%	15%	14%	14%	100%	—

年齢別構成状況

平成29年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	1	0	2	1	3	2	9
女	0	0	0	4	8	8	8	28
全体	0	1	0	6	9	11	10	37

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
基本理念・接遇研修	法人理念・服務の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて		全常勤	36名	4月1日	施設長（細野欣之）
人権研修	身体拘束等人権意識について		介護職員 看護職員	53名	5月11日～5月18日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食中毒研修	食中毒の原因、対策について		全職種	54名	6月8日～6月25日 (4回)	管理栄養士 (和田奈保美)
生活習慣病研修	産業医による健康診断の総評及びび瘡について		全職種	57名	7月25日	嘱託医（久保精一郎）
リスクマネジメント研修 (ヒヤリハットについて)	ヒヤリハットの活用方法について		全職種	58名	7月26日～8月12日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)
排泄ケア研修	陰部洗浄の必要性及びその手順について		介護職員 看護職員	46名	7月6日～7月23日 (3回)	排泄委員会 ユニバーチャム研修担当者
褥瘡研修	褥瘡の理解について		介護職員 看護職員	45名	8月3日～8月13日 (4回)	褥瘡委員会（看護師）
入浴介助研修	入浴マニュアル（入浴介助、準備、掃除、事前確認）について		介護職員 看護職員	29名	9月21日～9月28日 (4回)	入浴委員会
記録研修	記録（目的、種類、とり方）について		介護職員 看護職員	50名	10月19日～10月29日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
感染症対応研修	吐しゃ物処理対応について		介護職員 看護職員	52名	11月16日～11月26日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
看取りケア研修	看取りについての考え方やケアについて		介護職員 看護職員	30名	12月7日～12月24日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食事研修	適切なとろみ剤の濃度及び使用法の統一について		介護職員 看護職員	35名	1月11日～1月28日 (4回)	食事委員会 ユニットリーダー研修担当者
介護保険研修	介護保険制度の概要について		介護職員 看護職員	43名	2月8日～2月25日 (4回)	居宅介護支援専門員 (岸早春・安房加代子)
腰痛予防研修	腰痛対策について		介護職員 看護職員	21名	3月1日～3月7日 (2回)	株式会社たんぼぼ
リスクマネジメント研修	事故報告書及び危険予知について		全職種	20名	3月18日～3月29日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)

参加人数は併設事業所も含む。

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師 (職・氏名)
セイフティマネジメント研修	「セイフティマネジメント」と「リスクマネジメント」について (講義)	全常勤	43名	6月7日	株式会社CMI代表取締役 (丸岡義明先生)
介護業界とサービス研修	福祉産業、介護業界でのサービスについて (講義)	全常勤	76名	10月24日～10月28日 (3回)	勝原第二デイサービス (管理者・辻勝彦)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
平成28年姫路市老人福祉連盟 新任職員研修会	福祉サービスの心構え・自施設理念の理解と人権意識	介護職員	2名	5月13日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
「口腔と栄養」講演・シンポジウム	おいしく長生きのまちづくり・管理栄養士からみる栄養評価のポイント	介護職員	1名	5月14日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
衛生講習会（食中毒予防）	食中毒予防について	管理栄養士	1名	5月25日	1日間	姫路市防災センター5階	口頭・復命
平成28年度ユニットリーダー研修	ユニットリーダー研修	介護職員	1名	5月30日	8日間	京都テルサ・天神の社	口頭・復命
平成28年度姫路市老人福祉施設連盟 管理栄養士部会総会	平成28年度総会、監査総括及び栄養ケアマネジメント	管理栄養士	1名	6月16日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
介護実習指導者講習	介護福祉士実習指導について	介護職員	1名	6月18日	4日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
姫路市健康福祉局平成28年度社会福祉施設等新任職員研修	介護支援従事者のマナー・接遇・専門性と心構え	介護職員	1名	6月27日	1日間	姫路市役所北別館3階	口頭・復命
平成28年度認知症高齢者の口腔ケアと食支援研修	高齢者の口腔機能と口腔疾患の基礎知識	介護職員	1名	7月1日	1日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
新任職員OJT担当者研修（基礎編）	新任職員のOJTを担う者に求められる基礎的知識	介護職員	1名	7月5日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟管理栄養士部会研修会	栄養ケアマネジメント、非常食についてのグループワーク	管理栄養士	1名	7月6日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
基本動作の介助（Aコース）	基本動作（立ち、座り等）の実習とグループワーク	介護職員	1名	7月7日	1日間	姫路市地域リハビリテーション支援センター	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
認知症機能訓練 (4DAS) 基礎研修	認知症機能訓練 (4DAS) 基礎研修について	介護職員	1名	7月11日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
社会福祉法人制度改革について	社会福祉法改正について	施設長	1名	7月20日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会	情勢報告、講演、分科会	介護支援専門員 介護職員等	3名	7月21日	2日間	ロームシアター京都 京都市勧業館みやこめっせ	口頭・復命
平成28年度相談面接技術研修 (初級) Aコース	相談面接技術の基礎的な知識・技術について	生活相談員	1名	7月21日	2日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
介護現場が抱える課題を解決する技法	介護現場が抱える問題点について	介護職員	1名	7月28日	1日間	姫路西はりま地場産業センター	口頭・復命
第2回介護技術ステップアップ研修	尊厳を守るケアとは、姿勢と動作について	介護職員	1名	7月30日	1日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
高齢者・障害者虐待防止セミナー	人はなぜ虐待行為にでるのか・虐待を産まない環境作り	介護支援専門員	1名	8月5日	1日間	兵庫県農業共済会館	口頭・復命
平成28年度姫路市老人福祉施設連盟施設長研修会	社会福祉法人制度改革について説明	施設長	1名	8月22日	1日間	ホテル日航姫路	口頭・復命
腰痛推進研修 (現場リーダー向け)	腰痛の原因と対策について	介護職員	1名	9月1日	2日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
認知症の方とのコミュニケーション手法 (バリデーション)	バリデーションの基礎と効果について	介護職員	1名	9月6日	1日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	岡山和氣ヤクルト工場見学・川崎医科大学現代医学教育博物館見学・講義	管理栄養士	1名	9月7日	1日間	岡山和氣ヤクルト工場・川崎医科大学	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
第55回社会福祉夏季大学	鎌田氏による記念講演・パネルディスカッション	介護支援専門員 生活相談員	2名	9月8日	1日間	神戸芸術センター芸術劇場	口頭・復命
介護技術研修（応用編）	排泄ケアについて	介護職員	1名	9月14日	3日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
平成28年度新任職員ステップアップ研修（Bコース）	魅力ある社会人、求められる福祉の専門職を目指す	介護職員	1名	9月27日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	非常食について	管理栄養士	1名	10月6日	1日間	姫路市勤労市民会館	口頭・復命
平成28年度チームアップローチ実践研修	会議におけるファシリテーションについて	生活相談員	1名	10月18日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
平成28年度県老協職員研修会	クレーマー、施設事故、虐待などの対応について	施設長	1名	10月18日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
平成28年度介護保険サービス事業者集団指導	介護サービス事業における法令遵守、指導監査について	介護支援専門員 生活相談員	3名	10月26日	1日間	姫路市文化ホール	口頭・復命
認知症実践リーダー研修	職場内教育の方法の理解と実践	介護職員	1名	10月27日	10日間	ハーベースト医療福祉専門学校	口頭・復命
感染症対策研修・基礎研修	感染予防と対策について・手洗いの方法	介護職員	1名	10月31日	1日間	姫路市役所北別館3階	口頭・復命
高齢者虐待について	高齢者虐待防止について	介護職員	1名	11月1日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
介護の日イベント	講演会・映画上映	介護職員	1名	11月11日	1日間	ホテルクラウンパレス神戸	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
メンタルマネジメントと自己覚知	メンタルマネジメントと自己覚知について	介護職員	1名	11月15日	1日間	姫路市医師会館	口頭・復命
姫路市介護人材確保育成研修会	「福祉への理解」当事者の視点から	介護職員	1名	11月25日	1日間	姫路市自治福祉会館	口頭・復命
社会福祉士実習指導者講習会	社会福祉士実習指導について	生活相談員	1名	11月26日	2日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
介護事業所におけるスーパービジョン	介護事業所におけるスーパービジョンについて	介護職員	1名	12月9日	1日間	姫路じばさんビル	口頭・復命
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	事例研究	介護支援専門員	1名	12月14日	6日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
テーマ別ポジショニング編（基礎・実践）	ポジショニングの目的や考え方	介護職員	1名	1月12日	2日間	兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
平成28年度兵庫県老人福祉事業協会施設長研修会	基調報告、行政説明	施設長	1名	2月7日	2日間	ホテルクラウンパレス神戸	口頭・復命
終末期ケア普及フォーラム	自然死のすすめ～避けよう延命医療と延命介護～	介護職員	1名	2月15日	1日間	兵庫県民会館けんみんホール	口頭・復命
平成28年度近畿老人福祉施設協議会施設長研修会	講演会・情報交換会	施設長	1名	2月16日	2日間	ホテル日航奈良	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	非常食の調理実践・災害の備えについて	管理栄養士	1名	2月23日	1日間	姫路市勤労市民会館	口頭・復命
ストーマケアセミナー	ストーマの基礎知識	介護職員	1名	2月25日	1日間	姫路聖マリア病院	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
食べる能力の維持向上	食べる能力の維持するための基礎知識・方法	介護職員	1名	2月27日	1日間	姫路市保健所	口頭・復命
平成28年度経費・ケアハウス施設 長研修会	部会報告・講義「介護の仕事のイメージアップ」	施設長	1名	2月28日	1日間	兵庫県老人福祉事業協会	口頭・復命
姫路市社会福祉研修「労働契約法 のポイント」	「労働契約法のポイント」	施設長	1名	3月8日	1日間	姫路市役所北別館	口頭・復命
姫路市社会福祉研修「メンタルヘル ス研修～ラインケア～」	「メンタルヘルス研修～ラインケア～」働きやすい 職場づくりのために	施設長	1名	3月9日	1日間	姫路市役所北別館	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟栄養士部 会研修会	和食について	管理栄養士	1名	3月15日	1日間	竹善	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
4月27日	夜間体制訓練	夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認
6月17日	みやび野合同火災訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（デイ）
9月2日	災害時備蓄品の管理	緊急災害時備蓄品の把握、管理方法の確認
9月21日	みやび野合同火災訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（厨房火災）
12月14日	みやび野合同火災訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（保育園火災）
1月25日	夜間体制訓練	夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認
3月22日	夜間体制訓練 （消防署立会い訓練）	消防立会いにおける夜間体制の避難訓練

苦情対応

受付日	苦情内容	苦情対応
平成 28 年 9 月 4 日	<p>「職員の不適切な対応について」</p> <p>夜間、トイレに行きたいと訴えた利用者に対して訴えが多いという理由で不適切な言動があり、利用者より話を聞いた家族からそのような対応はどうかという申し出を受ける。</p>	<p>① 長女の訴えを聴き、職員のとるべき対応ではなかったことを謝罪する。</p> <p>② 生活相談員からミーティングや職員会議の場でユニット職員にも今回の苦情内容を伝え、不適切な対応をしないよう接遇における研修会を行う。</p>
平成 28 年 12 月 21 日	<p>「確認ミス及び軽率な発言について」</p> <p>ショートステイ担当者が休日であったため、別の事務所職員が入所送迎を担っていたが、ある家族より「まだ迎えに来ない」と電話連絡がある。対応した事務所職員がしっかりと確認をしないまま「現在迎えに行っているのもうしばらく待つように」と伝えてしまいが、実際は予定表にその方の名前はなく、別の方の送迎に行っていたため、電話連絡後もしばらく待つこととなってしまった。その後、家族より未だ迎えに来ていないことと事実関係の確認についての電話連絡を受ける。</p> <p>実際は、提供票の確認ミスで予定表に誤って記載しており、利用日であるにも関わらず、正しく送迎が行えていなかった。さらに、その確認を行わないまま事務所職員が軽率に返答してしまったことが原因であった。</p>	<p>① 担当者の代わりに送迎を担っていた職員が帰園後、提供票と予定表の内容が間違っていたことを確認し、速やかに迎えに行き、施設長が利用者及び家族に事情を説明して謝罪する。</p> <p>② 提供票の確認が不十分なまま予定表を作成していたため、必ず提供票の確認を行う。</p> <p>③ 事実関係を確認しないまま安易に返答してしまわないよう事務所職員にも同様の事案が発生した場合には速やかに関連部署と連携を取り、事実関係を把握した上での返答を徹底するよう伝える。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 28 年 9 月 19 日	<p>「転倒による骨折」</p> <p>4 時に居室より出てこられトイレ前にて扉を開けようとされバランスを崩され転倒し腰を打たれる。体動時に腰の痛みがあり、家族と相談し、20 日姫路愛和病院を受診し、第一腰椎圧迫骨折と診断される。</p>	<p>① ある程度の日常生活行為を自力で行われる方に対してはナースコールの説明と、こまめに居室を確認する。</p> <p>② 本人への声掛けを都度行いながら、必要に応じてトイレへの付き添いや一部介助を行う。</p> <p>③ 居室へのポータブルトイレの設置も本人と相談の上、実施する。</p>
平成 28 年 10 月 2 日	<p>「加算の誤算定」</p> <p>平成 27 年度より機能訓練体制加算を算定していたが、平成 28 年の 5 月から 8 月までの 4 ヶ月間算定要件を満たしていないにも関わらず、加算取り消しの申請を怠ったことで誤って算定を続けてしまっていた。</p> <p>速やかに保険者である姫路市に連絡を行い、過誤請求を実施し、家族にも誤算定の加算分金額を返金していくこととなる。</p>	<p>① 常に加算要件を確認するために定期的に加算要件が満たされているかどうかの確認を徹底する。</p> <p>② 加算要件を施設長や生活相談員だけでなく、ショートステイの担当職員にも伝えることで、気づける体制づくりを行う。</p>